

平成30年 第2回小浜市総合教育会議 会議録

開催日時	平成30年10月25日(金)	開会 13:30 閉会 15:30
開催場所	市庁舎4階 401会議室	
出席者	構成員	小浜市長 松崎 晃治 小浜市教育委員会 教育長 窪田 光宏・同職務代理者 山崎 正博・委員 入江 深砂・委員 上田 俊彦 委員 山崎 まどか
	事務局	【教育委員会】 教育部長 西田 雅志・教育部次長 谷 義幸・生涯学習スポーツ課長 澤谷 欣弘 文化課長 松宮 眞由美・教育総務課GL (地村 健一・重田 敬之・松岡 靖洋) 生涯学習スポーツ課GL (齋藤 寛之) 文化課GL (野瀬 昌寿)・企画部次長 東野 克拓
<p><b>1 開会</b></p> <p>事務局           ただ今から平成30年度第2回小浜市総合教育会議を開会します。                   なお、本日の会議終了は、15時30分を予定していますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p><b>2 協議</b></p> <p>事務局           それでは、早速、協議事項に入らせていただきます。                   議長につきましては、本会議の設置者であります松崎市長にお願いいたします。</p> <p>松崎市長       開会にあたり一言ご挨拶申し上げます。                   本日は、総合教育会議を招集させていただきましたところ、教育委員の皆様には公私ご多忙のなかお集まりいただき、まことにありがとうございます。                   日頃は、本市教育行政の推進に多大なるご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。                   さて、本日は本市の教育行政の課題として3つの項目について協議することとなっています。                   協議事項の1つ目は、平成30年度重点教育施策の進捗状況と今後の課題について、2つ目は、小浜市社会教育施設のあり方について、3つ目は杉田玄白賞を活かした地域活性化・食と健康の事業化について、でございます。</p> <p>                  この会議は、教育委員の皆様と活発に議論を交わし、本市の教育行政が</p>		

## 平成30年 第2回小浜市総合教育会議 会議録

より良いものとなるよう努めてまいりますのでご協力をよろしくお願ひ  
します。

それでは、協議事項1平成30年度重点教育施策の進捗状況と今後の課  
題について事務局から説明をお願いします。

### <教育総務課説明>

**松崎市長**

ただいま事務局から説明がありましたが、これにつきまして意見交換を  
行いたいと思います。ご意見、ご質問など何でも構いませんので、ご発言  
をお願いします。

**窪田教育長**

拉致問題は平成30年度の最重点施策に位置付けています。地村さんを  
講師に招き、すべての小中学校に講演をいただくことになっています。  
啓発講座は来年も行い、全学年や複数学年が一緒に受けるのではなく、人  
数は少なく、学年ごとの授業で取り組みたい。特に重点学年として小学校  
では6年生、中学校では2年生を対象学年としたい。

教員研修についてもあまり拉致問題を知らない職員がいるので研修に  
取り入れたいと考えています。

**上田委員**

現在小学校4校、中学校1校で拉致問題啓発講座を実施されていますが、  
終わった後のアンケートのようなものを取られているのですが、あれば回  
答内容を教えていただきたい。

また、副読本を作成されていると思うが、完成後は県や文科省の審査な  
どを受けられるのですか。小浜市独自のものとされるのですか。

**事務局**

まず、啓発講座のアンケートについては実施されていません。今後総務  
課と相談し対応させていただきます。

副読本については小浜市独自での作成を考えています。完成後は総合教  
育会議の場で承認をいただきたいと考えています。国の拉致問題の方針も  
踏まえ、作成したいと考えています。

**山崎職務代理**

私も授業を拝見したが、DVDを見ていたがどの学年も見てから授業に  
入るのですか。

**事務局**

人権教育で拉致問題を全学年で取り上げます。いきなり地村さんの話か  
ら拉致問題に入るとわからない部分もあると思うので、まずDVDを見て  
拉致問題とはどういう事かを知ってもらい授業に入れるようにしていま  
す。

**教育長**

副読本については、表現方法など課題が出てくると思うので作るときは

## 平成30年 第2回小浜市総合教育会議 会議録

専門的な助言も必要な場合が出てくると思います。

上田委員

副読本ができる注目もされるので表現や内容には十分考えていかないといけない気がします。

入江委員

拉致問題の表現方法はデリケートな部分もあるので作成委員会の中では地村さんの思いや教育的価値をすり合わせて、大切な部分を抽出して作成していく感じになっています。

教育長

一般向けには拉致問題の本は出ているが、子供向けはまだないのでやりがいをもって、拉致問題学習の宝物になるよう取り組んでいます。

松崎市長

完成すれば全国から使わせて欲しいとの声もでてくると思います。

松崎市長

健康診断票のビッグデータ化については私も依頼を受けた話です。せっかくの健診データが生かされておらず、データが捨てられているとのことです。捨てられていたデータを活かし研究に生かしていきたいとのことです。

入江委員

拒否する権利はあるのでしょうか。例えば生まれつき病気を抱える子どもの保護者には健康診断を書くことに抵抗を感じる方もおられます。それが拒否できるようにしないと負担になります。

また、小学生の健康管理は保護者にあると非常に感じ、いただいた指導をすごく大切に思われる方もいらっしゃいます。保護者があまりデータに振り回されることなく、上手に活用できるようにしてほしいと思います。

事務局

拒否についてはできることになっています。また還元されるデータについても柔らかい表現での内容になると思っています。家庭での健康批判になるような内容にはならないようにします。

入江委員

拒否する際は保護者が直接センターへ伝えるとのことですが、学校で取りまとめることはできないのですか。保護者が自分でいうのはすごく抵抗を感じます。

事務局

学校からの段階で提供を止められるよう検討します。

松崎市長

学校の負担軽減を図ることもあって直接センターへということになっているのかもしれませんが。

松崎市長

続きまして協議事項2小浜市社会教育施設のあり方について事務局から説明をお願いします。

<生涯学習スポーツ課説明>

平成30年 第2回小浜市総合教育会議 会議録

- 松崎市長 ただ今説明のあった件でご発言をお願いします。
- 窪田教育長 来年小浜美郷小学校が開校し、東部4校が一つになります。その中の課題として地域の行事に学校はどう参加していくのかがあります。敬老会、ふるさと祭りなどです。それぞれの地区に参加となると4回参加ということになります。
- 事務局 地域の子どもは地域で支える制度が大切と感じます。
- 事務局 地区行事、伝統行事をなくすわけにはいかないので検討していかなければなりません。
- 上田委員 現在公民館で働いている方がコミュニティセンター化に移った場合その処遇はどうなるのですか。
- 事務局 管理運営方法も定まっておらず、そこまでは決まっています。
- 上田委員 コミュニティという意味を考えると、地元に入って一緒に働いてくれる方を選んだほうが良いと思います。
- 入江委員 地域コミュニティに属する団体とはどのようなものがあるでしょうか。老人会、子ども会ですか。
- 事務局 他に婦人会、青年団体、区長会があります。
- 上田委員 業務だけをこなすのではなく、地元にも愛着を持っていてくれる方を採用したほうがありがたい。
- 事務局 運営方法がまだ決まっていないのですが、お金を渡してどうぞ、という形はまずいと思います。
- 松崎市長 市とまったく切り離すのはまずいと思います。地区と行政をつなぐ役割があると思います。
- 事務局 市の方針と地元の考えが合わないとうまくいきません。
- 上田委員 資料に先進地視察とありますが、どちらへ行かれるのですか。
- 事務局 市長部局で対応しており、今わかりません。
- 山崎職務代理 県内での取り組みはあるのですか。
- 事務局 坂井市であります。
- 山崎ま委員 私はひとつの団体の長をしており、公民館を使っているが、コミュニティセンター化されると、今使っている雲浜公民館を変えていろんな場所が使えるのか、また有料化されるのでしょうか
- 事務局 これからの検討事項になります。
- 入江委員 どういう使用だと貸してもらえるのか、まただめなのか、ルールを決めておいていただけるとありがたいです。

## 平成30年 第2回小浜市総合教育会議 会議録

山崎職務代理 事務局	中央公民館が廃止になると利用している団体はどうなりますか。 廃止後の利活用、現在利用している団体のことは考えなければなりません。
松崎市長	続きまして協議事項3 杉田玄白賞を活かした地域活性化・食と健康の事業化について事務局から説明をお願いします。  〈文化課説明〉
松崎市長	ただ今説明のあった件について意見交換を行います。ご発言はありますか。
入江委員	誰のための賞なのか、研究成果を認める賞なのか、市民に広めるところまでを見込んだ賞なのか、これまでをみると、研究成果への賞に見えます。 この賞を市民に広めるところまでを賞の目的とするなら、公募条件にそのことも記載して、ポスター化も図ってみてはでうでしょうか。発表タイトルももう少し市民に分かりやすくしてもらえると市民も近く感じるのではないのでしょうか。
上田委員	発表会場が小浜病院ですが、病院というのは行きづらいのもっと気楽に参加できる場所を考えていただけるとありがたいと思います。
山崎ま委員	普及啓発の方法は悩ましい問題ですが、応募数がそんなに多くはないので、プロポーザルをしていただいて市民の方に決めていただくと普及につながるのかと思いました。
事務局	審査の際は小浜市民が関心を持つかどうかとも考慮しています。会場についてはまた検討します。プレゼン方式も普及のひとつです。しかし、内容が難しいことから市民に伝えることが難しいと感じますが、広く知っていただくことは必要ですので、ご意見を参考にさせていただきます。
窪田教育長	杉田玄白賞は学術的には高評価で価値のある賞になっています。研究者の目標にもなっていますので、市民へのお知らせと、受賞の内容は別に考えるべきと思います。 講演時には市民にもわかりやすい内容にしてくれています。広く知らせるには教育委員会だけでは限界がありますので、市長部局との連携を進めないといけない。
入江委員	研究は高いレベルでしていただき、説明するときは相手を考えていただけるようお願いしたい。

## 平成30年 第2回小浜市総合教育会議 会議録

- 松崎市長 題名を見て難しいと感じてしまうのでしょうか。話は分かりやすいのですが。
- 事務局 表彰内容をその後に生かすには教育委員会だけでは難しい部分があります。
- 松崎市長 その他何かありますか。
- 上田委員 酒井家文庫保存活用協議会で歴史講演会をされていますが、主催は協議会で共催は歴史と文化を守る市民の会になっています。負担も大きいので教育委員会の事業として助成していただけたらと思います。
- 松崎市長 その他ありますか。
- ないようですので、小浜市総合教育会議を終了します。長時間にわたりありがとうございました。